



WABA | 世界母乳育児週間

「もしも母乳育児が存在せず、今日だれかがそれを発明したとしたら、それはノーベル医学賞とノーベル経済学賞のダブル受賞に値していただろう」 (世界銀行 Keith Hansen)

(母乳で育てられないことで) 毎年 82 万 3000 人の子どもが死亡し、2 万人の母親が死亡し、そして 3020 億円の経済的損失が起きているという純然たる現実があります。

母乳育児によって、命が助かりお金が節約できるというだけではありません。母乳育児は「いのちの礎(いしずえ)」(#FoundationOfLife) なのです。2018 年の世界母乳育児週間 (#WBBW2018) の焦点は、母乳で育てることで、すべての種類の栄養不良の予防に役立ち、危機的状況にあってさえも食糧安全保障が担保され、貧困の連鎖を絶ち切るという点です。2018 年の世界母乳育児週間はもうすぐそこまで来ています。私たちの現状を振り返ってみましょう。

2015 年に国際連合は持続可能な開発目標(SDGs)、つまり 2030 年までに持続可能な開発を通して世界を変革する行動計画を掲げました。17 の SDGs に関してのある程度の進展はあったものの、遅々たる歩みです。2030 年までの行動計画の到達目標に達するため、だれも取り残されないため、そしてどのような課題も未解決のままにしないために、もっと努力する必要があります。世界母乳育児週間はそれを実現する助けとなりえます。

世界母乳育児行動連盟(WABA)は、世界母乳育児週間と SDG の運動を通し、母乳育児と各 SDGs の目標を連携させることで、この課題にチャレンジしました。私たちが年 1 回行う世界母乳育児週間の運動では、母乳育児の保護・推進・支援が持続可能な開発の鍵になるように、両者の連携を強調しています。

栄養不良、食糧安全保障、貧困は何百もの人々に影響を与えており、持続可能な開発を阻害しています。2018 年に出された持続可能な開発目標報告書では、これらの課題に焦点を当てることの大切さを強調しています。世界において飢餓は増えています。それは食糧が安定的に手に入らないことと、紛争、洪水、気候変動に関連する災害などの危機的状況に原因の一部があります。肥満と慢性疾患が蔓延しています。地域的な最貧困は未だに残っており、貧富の差は拡大しています。



こうした問題を克服するための介入としてしばしば見落とされているのが母乳育児です。最適な母乳育児は、あらゆる形態の栄養不良を予防し、母と子の双方に一生効果をもたらします。母乳育児は気候温暖化の賢い対策であり、危機的状況でも食糧安全保障を担保します。母乳育児が女性と子どもの心身の健康を改善し、国の発展と未来の礎となります。また、人々の格差を是正し、貧困の連鎖を絶ち切る助けになります。母乳育児の保護・推進・支援は私たちの地球と地球市民の健康にきわめて重要です。母親と赤ちゃんに焦点を当てることで、また、母乳育児支援のための温かい輪 (#WarmChain)を創造することで、2025 年までに少なくとも 50%の赤ちゃんが母乳だけで育てられるようになるという、**世界保健総会**の到達目標を達成することが可能になります。「いのちの礎」である母乳育児に関して、手を携えて情報提供し、揺るぎないものとし、協働し、啓発していきましょう。より健康で豊かで持続可能な未来に向けて皆がそれぞれの役割をもって協働することができます。2018 年の世界母乳育児週間を、あなたはどうのように祝いますか？

2018年世界母乳育児週間の目標

- 情報提供する**
良質な栄養、食糧安全保障、貧困の削減と母乳育児との関連について人々に情報提供する
- 揺るぎないものとする**
母乳育児を「いのちの礎」(いしずえ)として、揺るぎないものとする
- 協働する**
個人や団体と連携してもっと影響力を持つように協働する
- 啓発する**
良質な栄養、食糧安全保障、貧困の削減という課題の一部として、母乳育児への意識を高めるよう行動を啓発する

私たちのウェブサイトには、2018 年世界母乳育児週間を祝うための最新の教材やソーシャルメディアの素材、メディア用素材、そのほかの情報源、そして誓約書がありますので、訪ねてください。そして、あなたの母乳育児週間イベントを報告してください。どうぞ、楽しい世界母乳育児週間を！